

職員による自己評価

A環境面  
・子どもの活動スペースは十分に確保できている。

B児童への支援内容  
・毎日反省会を行い、お子様の様子を話しあっている。

C関係機関との連携  
・学校教諭などとお話をし、学校の様子を聞く。

D保護者への説明責任・信頼関係  
・半年に1回の個別支援計画モニタリングの面談を行う。また、送迎時にその日の様子や学校での様子などを話す。

E非常対応  
・プログラムの中に避難訓練などを行い、非常時に備えている。水なども備えている。

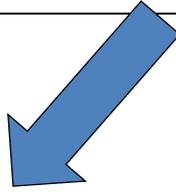
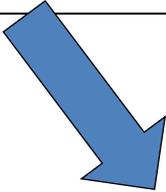
保護者による評価

A環境面  
・子どもの活動スペースは十分に確保できている。

B児童への支援内容  
・事業所で行われている支援プログラムは適切に行われている。お子様も楽しみにしている。教室も衛生的である。

C事業所からの情報発信  
・利用回ごとに連絡シートで様子を教えてくれている。  
・インスタグラムやブログも随時更新している。

D非常対応  
・怪我ややむを得ず身体拘束を行った場合はすぐに保護者様に連絡を取り、状況説明を行っている。  
・年に数回、地震や火事を想定した避難訓練を行っている。その際はお子様に分かりやすいように説明も行ってくれる。



事業所内での分析

**【共通点】**  
お子様の活動スペースは十分に確保できている。  
生活空間も衛生的である。

**【相違点】**  
児童発達管理責任者が変わってから変更部分がなく、引き続きでよく見ていない

## 分析・検討してみても…

### 事業所の強み

児童が過ごす空間は十分に確保できている。  
常に衛生的な環境で過ごすことができている。

児童が興味を持って活動に参加することができる。

児童が事業所に満足している。

毎日2回のミーティングを行っている

### 事業所の改善点

マニュアル等の周知不足

各種マニュアルについて、策定・説明が把握しきれていない。

より保護者支援を充実させられるよう、全体研修の内容を検討していく。

### 事業所の改善への取り組み

- ・虐待防止研修や避難訓練などを行い、マニュアルの策定・説明ができるようになる。
- ・様々なプログラムを用いてさらに児童に楽しいと思える居場所づくりを行っていく。

#### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

令和6年度末をもって、ぴりか開所から3年半が経ちました。利用者様、保護者様にはいつもぴりかの療育にご理解・ご協力を頂きまして大変有難い気持ちでいっぱいです。来年度のぴりかもより良いサービスを提供できるよう、改善・見直しを随時行ってまいります。今年度も皆様のご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。

従業者向け

児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		児童数に対して、教室の広さは十分に確保できている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		ホワイトボードを使って、1日の流れを確認することができる。また、タイマーを使って時間を示すこともしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		子どもたちに合わせた空間づくりができています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		個別の部屋があり、必要に応じて使用している。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	4	日々のミーティングの中で、振り返りを行い、そのミーティングには全てのスタッフが参加している。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	保護者に向けてのアンケートを見て全員で振り返りを行っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6	外部評価をしているのか不明。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	2	児発管が中心となり、計画を作っている。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	3	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	2	固定化しないよう、その日のお子様にあった遊びを提供している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		1
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		1日の終わりのミーティング、連絡帳、ノートの記入を行っている
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	6	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	6	地域連携はしたことがないが、今後そのような課題があれば参画していきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	7	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	2	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	9		

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	9	保育園などとの交流はない。今後、機会があれば参加していきたい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	2	保護者送迎時にその日の状況を説明している。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	7	家族支援プログラムの研修を今後は行ってみたい。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	3	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	8	父母の会、保護者会を行ったことがないので、今後は計画していきたい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		相談があった場合は児発管を中心に相談に対応している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	3	通信は発行していないが、インスタグラムやブログを更新している
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		9	地域住民を招待するなどの活動は行っていない
非常時等の	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		災害に備えたプログラムを作成し、避難訓練などを行っている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		事前のアセスメントでてんかん発作の有無を聞き、てんかん発作を持っている場合は保護者と対応を統一させている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		児童発達支援ではおやつ提供がない。また、昼食もお弁当を持参している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		

対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		日々の活動の中でヒヤリハットがあれば、報告書を書き、スタッフで共有している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		万が一身体拘束が行われた場合に関しては契約時に説明を行っている。

保護者向け

児童発達支援評価表

(保護者の皆さまへ)

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2				十分に配置されていると思う
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2				
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	1			
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1	1			
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	1	1			
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	1			
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2				
	10 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	1			
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。		2			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1	1			
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		2			
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	1			家族支援について、家庭ではこうしてみたらどうかなどのアドバイスがあるとうれしい
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2				その日の様子を教えてくれる。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				2	父母の会などはない

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	1			よくわからない
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	1			契約時に説明を受けた。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2				毎回楽しみにしている。
	29	事業所の支援に満足していますか。	2				丁寧に対応してくれていると感じる。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をするのかかわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1			
2			
3			

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	びりか
------	-----

公表日 年 月 日

利用児童数 年 月 日 回収数

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2				遊ぶスペースは十分にある。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2				適切な人数を配置している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	2				清潔は保たれていると感じる	ご意見ありがとうございます。日々の清掃後に紫外線で除菌をしています。今後も衛生面には気をつけて参ります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1	1			毎回好きな遊びをしている。時間を意識したりする支援はできている	ご意見ありがとうございます。小学校入学に向け、時間を意識できるような支援を行っています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1	1			面談で詳しく話をする。	ご意見ありがとうございます。個別支援計画面談以外でもお話しすることは可能なので、いつでもご相談ください
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1			1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2				子どもの成長に合わせた支援をしている	ご意見ありがとうございます。お子さまの成長に合わせた活動や声掛けを行って参ります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	1				
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。			1	1	交流した話などは聞かない	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2				契約時に説明があった	ご意見ありがとうございます。契約時にお話をさせていただいております。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			2		ペアレントトレーニングをしたことはない	ご意見ありがとうございます。ペアレントトレーニングなども今後行うことができるよう体制を整えて参ります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	1			半年に1回、面談がある	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。				2	保護者会はなかった	保護者会や父母の会など、今後開催できればと思います。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	2					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発 信されていますか。	2				Instagramやブログで見ている	ご意見ありがとうございます。 今後も随時更新していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	2					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	2					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2					
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2				毎回通所を楽しみにしている。	ご意見ありがとうございます。 楽しく通って頂き、うれしく思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	2				毎回楽しかったと言って帰る。	ご意見ありがとうございます。 今後もお子様が楽しいと思える支援を 行って参ります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名					公表日	年	月	日	
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9						
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		保育士を中心に職員の配置は適切に配置している。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		ホワイトボードやタイマーを利用して障害の特性に対して応じている。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		毎日の清掃に加え、紫外線で教室内を除菌している。				
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		療育スペースとは別にクールダウンが出来る別室がある。					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	4		その日の振り返りはあるが、全スタッフが参加しての目標設定はないので、今後ミーティングを行っていきたい。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	送迎時などに最近の様子を聞いたり、保護者様の意向を聞いたりして業務改善に繋げている。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		毎日終礼を行い、その日の出来事や今後についての話し合いはできている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	4	集団指導や研修などに参加している。				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	3		教室には日々の予定が書いてあるプログラムがあるが、保護者がそれを確認することができない。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	2	半年に1回の個別支援計画モニタリング面談を行っている。その際に課題やニーズを分析している				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	お子様に関するすべての支援員がお子様の最善の利益を考慮している。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		計画書は個人ごとにファイリングされ、スタッフはいつでも確認できるようになっている				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	4		地域連携などは行ってないため、今後行えるようにしていきたい			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	3	その日のプログラムはお子様のやりたい遊びを中心に行っている。				

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	3		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	3		1日1名利用なので、集団活動は行えない。今後、複数名の児童が来所する際には、集団活動を行っていきたい
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		保育士を中心にその日の支援を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		毎日の終礼の際にその日の反省点などを話合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		日々、支援の内容やその日の様子を記録している。また、連絡帳もコピーし保管している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	7		地域との連携はしていないため、今後教育関係機関などと連携していきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		9		保育園等との連携はない。今後、保護者様や保育園等からの要望があれば行ってきたい
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		9	小学校のお迎えの際などにその日の様子や学校での話をするようにしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		9		地域の児童発達支援センターがあるかどうかもわからないため、役所と連携をとっていきたい
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		9		地域の保育所などとの交流も行っていきたい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	2	送迎の際に保護者様とお話している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	7		ペアレントトレーニングを今後勉強していきたい	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時にお話させていただいている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		保育士や児発管を中心に子育ての悩みなどを話す機会がある。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		9		今後、要望が多ければ保護者会をやりたいと考えている。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	3		児発管の変更などのお知らせができていない時期があった。この反省を含め、今後はスタッフの変更等伝えていきたい
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		Instagramやブログの更新を行っている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	8		地域の方を招待するなどは行っていないが今後の活動として行っていきたい
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		9	地震・火事を想定した避難訓練を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	2		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		初回アセスメント時に服薬やてんかん発作などの有無を確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		食物アレルギーについても初回アセスメントで有無を聞いている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	7		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		年に2回、虐待防止研修を行い虐待防止に努めている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9				

従業員向け

## 放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		子どもの多い日もあるが、子ども同士の距離はしっかり取れている。各々やりたいことが出ている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		配置数には多く余裕がある。マンツーマン対応が必要な子どもが少ないため、全体を把握できる人数体制になっている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		ホワイトボードや絵カードを用いて必要な子どもには説明ができるようになっている。子どもたちの動線も確保されている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		子どもたちが帰宅してから毎日の掃除に加え、おもちゃのアルコール消毒をしっかりと行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		体調や不安な時など、別室にて過ごせる環境がある。体調やその日の疲れ具合子ども同士が距離置いたほうが良い時など、別室を使用している。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎日反省会を行っている。 毎日反省会を行っており、子どもたちについて気を付けることなど職員間で共有し、ノートに記入している。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	3	業務時間外での研修を行っている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		子どもと日々の関りや面談等で本人や家族の意見も汲みながら支援計画の作成を行っている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		職員で話し合う機会を設けて児童発達支援管理責任者の元、子どもたちにとって今日のような支援が必要で今後も必要なのか不要なのか最善の答えに導くようにしている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		日々の様子を書くノートに支援計画内容を貼り、その内容を貼り、支援に沿った支援が出来ているのかを書いている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		なぜ固定化してはいけないのか。 生活訓練は月に数回同じものはあるが、レクやストレッチ、制作等は同じものが無いように工夫している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・ミーティングを行っている。 ・朝・昼とミーティングを行い、その日の活動や送迎について確認をしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		4	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	2	いまだ、行われていない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4	

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		4	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時に必ずお話をしている。詳しい話は面談時に行っている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		日々の会話や面談時での会話から子どもや家族の意向を確認している。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		ご家族との面談を行い、説明をした上で同意を得ている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		インスタや通信の発行を行っている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	年に数回生活訓練として避難訓練を行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		

対 応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		

保護者向け

## 放課後等デイサービス評価表

(保護者の皆さまへ)

○本評価表は、放課後等デイサービスを利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	3	1		普段どのくらいの人数で職員の数もわかりません。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	2		1	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1	2	1	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1	1	1	記憶が曖昧な子に対して何度も強く注意する職員がいる。
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	1	1	1	下記同様⑩ 専門性が全くない。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	10	1	1	1	児童発達管理責任者が変わってから変更部分がなく、引き続きでよく見ていない。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	1	1	1	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11		1	1	
	10 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1			活動内容が親にも紙面や口頭でもいいので前もって分かればいい。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	3	4	
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	1			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	1		1	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	3	6	1	ちょっとわからない
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	1			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	2			

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	8	3	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	2		1	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	2		1	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	2		1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12				
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	3		1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12			1	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1		1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	2		1	
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13				とても安心して通わせてもらえています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13				毎回楽しみにしているし、楽しかったと言って帰ってきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12		1		とても満足しています。いつもありがとうございます。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1			
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	びりか	公表日 年月日				利用児童数	年月日	回収数	15
環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	4	1		普段どれくらい人数で職員の数もわかりません。	貴重なご意見ありがとうございます。びりかでは、児童10名に対し、6名～8名のスタッフで療育を行っています。	
2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	2	2					
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1	2	1				
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	1	1			びりかでは児童帰宅後、清掃を毎日行っております。また、毎日紫外線で室内を殺菌しております。		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1	1	1	記憶が曖昧な子に対して何度も強く注意する職員がいる。	貴重なご意見ありがとうございます。今後、お子様にとって最善の療育を行えるよう、声掛けや注意の仕方も見直していきます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1	1	1	下記と同様、専門性が全くない。	貴重なご意見ありがとうございます。専門性を高めるため、社内研修などを行い、よりよい療育をお子様にご提供できるよう、努力して参ります。	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	1	1	1	児童発達支援管理責任者が変わってから変更部分がなく、引き続きよく見ていない。	貴重なご意見ありがとうございます。児童発達支援管理責任者の退職などでご迷惑をおかけしました。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1	1	1			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14		1	1		利用開始前に保護者様からヒアリングを行い、ご家族のご希望に合わせた個別支援計画を作成しております。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1			活動内容が親にも口頭や紙面でもいいので前もって分かれればいい。	貴重なご意見ありがとうございます。検討させていただきます。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	3	4			
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12		1	1		ご利用契約時に契約書・必要事項説明書にて運営規定や利用者負担額についてご説明させて頂いております。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	3	6	1			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14	1				送迎時などに保護者様とお子様の様子や学校での様子を伺い、共通理解を深めます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1				個別支援計画のモニタリング面談を定期的に行っています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	2				保護者様からのご相談などは必要があればスタッフ間で共有し、より良い返答ができるよう連携を取っております。	
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	8	3				

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	2		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	2		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	2		1		日頃の活動で行ったことなどはひりかのInstagramに掲載させております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	3		1		地震や事故の際のマニュアルは策定されており、それに応じた訓練をスタッフ・児童ともに年に数回行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13					年に数回、地震・火事を想定した避難訓練を行っています。その際、お子様方にもどのようにして逃げるかなどの説明も分かりやすく行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	2		1		怪我ややむを得ず身体拘束を行った場合はすぐに保護者様にお電話をさせて頂き、状況説明などを行っております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15				とても安心して通わせてもらっています。	ご意見ありがとうございます。安心して通うことができ、こちらも嬉しい限りです。今後ともよろしくお願致します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15				毎回楽しみにしてるし、楽しかったと言って帰ってきます。	ご意見ありがとうございます。ひりかで過ごす放課後を楽しんで頂き、ありがとうございます。今後もお子様が楽しめるよう、様々な活動を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14		1		とても満足しています。いつもありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。今後も満足して頂けるよう、良い療育を行っていきます。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名		公表日	年 月 日
------	--	-----	-------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		お子様の多い日もあるが、お子様同士の距離はしっかり取れている。各々やりたいことができています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		配置数には多く余裕がある。マンツーマン対応が必要なお子様も少ないため、全体を把握できる人数体制になっている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		ホワイトボードや絵カードを用いて必要なお子様には説明できるようになっている。お子様の動線も確保できている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		お子様が帰宅してから毎日の掃除に加え、おもちゃのアルコール消毒をしっかりと行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・毎日反省会を行っている。 ・毎日反省会を行い、お子様方の気をつける点などスタッフで共有し、ノートに記入している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	3	業務時間外で研修を行っている。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		お子様と日々の関りや面談等でお子様や保護者様の意見を汲みながら支援計画の作成を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・なぜ固定化してはいけないのか？ 生活訓練は月に数回同じものはあるが、 レクやストレッチ、制作等は同じものが無 きに工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放 課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・ミーティングを行っている。 ・朝、昼とミーティングを行い、その日の 活動や送迎について確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に つなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組 み合わせて支援を行っているか。	5			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決 定をする力を育てるための支援を行っているか。	6				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時 刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡） を適切に行っているか。				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支 援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		4		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。	1	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会があるか。		4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時に必ずお話をしている。詳しい話は 面談時に行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の 機会や情報提供等を行っているか。	1	3		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	4				
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意 思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こど もや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		日々の会話や面談時での会話から子どもや 家族の意向を確認している。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行 い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。			ご家族との面談を行い、説明した上で 同意を得ている。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		インスタや通信の発行を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	年に数回、生活訓練として避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4				

事業所名

障害児通所支援事業所 ぴりか

## 支援プログラム (参考様式)

作成日

2025 年

2 月

22 日

法人 (事業所) 理念		こころとからだを育み、安心して過ごせる場所の提供支援 笑顔あふれる未来づくり							
支援方針		個性と長所を伸ばすための療育支援							
営業時間		10 時	30 分	から	12 時	30 分	まで	送迎実施の有無	なし
		支 援 内 容							
本人 支 援	健康・生活	来所時の手洗い、うがい、身だしなみのチェックなど ホワイトボードでの1日の流れの確認							
	運動・感覚	大きめのボールを使ったキャッチボールなど お絵描きなどの微細行動							
	認知・行動	認知の特性に応じたカリキュラム…なぞり書きや運筆など おままごとなどを通してソーシャルスキルの向上を目指す							
	言語 コミュニケーション	挨拶や朝の会、帰りの会などへの参加 絵カード、身振り、手振りでの非言語的コミュニケーション 興味を持っていることを発表する機会を提供し、話す力や聞く力を身に着ける。							
	人間関係 社会性	ひとり遊びや集団遊びを通じた自己理解や他者理解を養う。 お散歩などを通して、交通マナーや安全に歩道を歩く力を身に着ける。							
家族支援		送迎時に保育園・幼稚園での様子を伺い、連絡ノートなどでスタッフ全体に 周知する。 定期的な面談を行い、日常の課題などを共有し支援に繋げていく。				移行支援		保育園・幼稚園・他の児童発達支援事業所などと連携を取り、支援の連 携を行い、児童に合った支援を目指す。	
地域支援・地域連携		図書館や体育館など地域の公共施設を活用し、交通マナーや施設を利用した 際の注意点などを学んでいく				職員の質の向上		虐待防止研修・身体拘束適正化研修・防災訓練などを年に2回行ってい る。	
主な行事等		お花見お散歩、夏祭り、クリスマス会、ハロウィンなど							

事業所名

障害児通所支援事業所 ぴりか

## 支援プログラム (参考様式)

作成日

2025 年

2 月

20 日

法人（事業所）理念	こころからだを育み、安心して過ごせる場所の提供支援 笑顔あふれる未来づくり							
支援方針	個性と長所を伸ばすための療育支援							
営業時間	10 時	0 分	から	19 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容								
本人 支 援	健康・生活	毎日の手洗い、うがい、消毒、身だしなみのチェックなど 活動ごとの準備や後片付け 「食」に対する意欲、関心を引き出す食育学習（調理）の実施						
	運動・感覚	ビーズを使い、プレスレットやキーホルダーを作る・製作の日に行う工作など リトミックや筋力トレーニングを定期的に行う						
	認知・行動	買い物等で自分でお金を支払い、お金やレシートの管理を行う。 SSTを定期的に行い、適切な言葉・行動について学習する機会を設ける。						
	言語 コミュニケーション	挨拶や日常の会話を通じて円滑なコミュニケーションを取ることができるようになる 絵カード、身振り、手振り、ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションで相互理解を図る 興味を持っていることなどを発表する機会を設け、話す力・聞く力を身に着ける。						
	人間関係 社会性	ひとり遊びや集団遊び、活動を通して自己理解や他者理解を養う。 昼食の買い物を通して、物の価値やお金の計算を学ぶ。						
家族支援	送迎時に学校の様子やご家庭での様子を伺い、ノートなどを通して情報共有 を行っていく。 定期的に面談を行っていく			移行支援		学校や家庭、放課後等デイサービスでの様子や支援の取り組みにつて情 報共有を行い、児童に寄り添った対応をしていく		
地域支援・地域連携	図書館や公共施設などの利用を通じ、地域資源を活用する			職員の質の向上		職員に対して、虐待防止研修・身体拘束適正化研修・防災訓練の研修を 行っている。 感染症BCP、自然災害BCPも年に1度行う。		
主な行事等	季節行事：遠足、夏祭り、クリスマス、ハロウィン、卒業を祝う会 など 食育活動：月に1度、調理を行っている。クレープやチョコフォンデュなど児童のリクエストに応じている。							

事業所名

障害児通所支援事業所 ぴりか立場

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

12 日

法人（事業所）理念		こころとからだを育み、安心して過ごせる場所の提供支援 笑顔あふれる未来づくり							
支援方針		個性と長所を伸ばすための療育支援							
営業時間		10 時	30 分	から	12 時	30 分	まで	送迎実施の有無	なし
		支 援 内 容							
本人 支 援	健康・生活	来所時の手洗い、うがい、身だしなみのチェックなど ホワイトボードでの1日の流れの確認							
	運動・感覚	大きめのボールを使ったキャッチボールなど お絵描きなどの微細行動							
	認知・行動	認知の特性に応じたカリキュラム…なぞり書きや運筆など おままごとなどを通してソーシャルスキルの向上を目指す							
	言語 コミュニケーション	挨拶や朝の会、帰りの会などへの参加 絵カード、身振り、手振りでの非言語的コミュニケーション 興味を持っていることを発表する機会を提供し、話す力や聞く力を身につける							
	人間関係 社会性	ひとり遊びや集団遊びを通じた自己理解や他者理解を養う お散歩などを通して、交通マナーや安全に歩道を歩く力を身につける							
家族支援		送迎時に保育園・幼稚園での様子を伺い、連絡ノートなどでスタッフ全体に 周知する 定期的な面談を行い、日常の課題などを共有し支援に繋げていく				移行支援		保育園・幼稚園・他の児童発達支援事業所などと連携を取り、支援の連 携を行い、児童に合った支援を目指す	
地域支援・地域連携		図書館や体育館など地域の公共施設を活用し、交通マナーや施設を利用した 際の注意点などを学んでいく				職員の質の向上		虐待防止研修・身体拘束適正化研修・防災訓練などを年に2回行ってい る	
主な行事等		お花見お散歩、夏祭り、クリスマス会、ハロウィンなど							

事業所名

障害児通所支援事業所 ぴりか立場

## 支援プログラム (参考様式)

作成日

2025 年

3 月

12 日

法人（事業所）理念		こころとからだを育み、安心して過ごせる場所の提供支援 笑顔あふれる未来づくり					
支援方針		個性と長所を伸ばすための療育支援					
営業時間		10 時	0 分	19 時	0 分	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	毎日の手洗い、うがい、消毒、身だしなみのチェックなど 活動ごとの準備や後片付け 「食」に対する意欲、関心を引き出す食育学習（調理）の実施					
	運動・感覚	ビーズを使い、プレスレットやキーホルダーを作る・製作の日に行う工作など リトミックやストレッチや軽い筋力トレーニングを定期的に行う					
	認知・行動	買い物等で自分でお金を支払い、お金やレシートの管理を行う SSTを定期的に行い、適切な言葉・行動について学習する機会を設ける					
	言語 コミュニケーション	挨拶や日常の会話を通じて円滑なコミュニケーションを取ることができるようになる 絵カード、身振り、手振り、ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションで相互理解を図る 興味を持っていることなどを発表する機会を設け、話す力・聞く力を身につける					
	人間関係 社会性	ひとり遊びや集団遊び、活動を通して自己理解や他者理解を養う 昼食の買い物を通して、物の価値やお金の計算を学ぶ					
家族支援		送迎時に学校の様子やご家庭での様子を伺い、ノートなどを通して情報共有 を行っていく 定期的に面談を行っていく			移行支援	学校や家庭、放課後等デイサービスでの様子や支援の取り組みにつて情報共有を行い、利用者に寄り添った対応をしていく	
地域支援・地域連携		図書館や公共施設などの利用を通じ、地域資源を活用する			職員の質の向上	職員に対して、虐待防止研修・身体拘束適正化研修・防災訓練の研修を行っている 感染症BCP、自然災害BCPも年に1度行う	
主な行事等		季節行事：遠足、夏祭り、クリスマス、ハロウィン、卒業を祝う会 など 食育活動：月に1度、調理を行っている。クレープやチョコフォンデュなど利用者のリクエストに応じている					